発行者
弥生会広報部会
事務局
〒740-0012
山口県岩国市
元町１丁目
１番17号201
☎0827(30)5677
FAX0827(30)6577
http://iwakuni-yayoi.jimdo.com

季刊 やよい

弥生会

協働の取り組み不可欠

岩国市長　福田良彦

本格的な夏を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

平素から弥生会の皆様方には、「岩国の明るい未来」の創造に向けて多大なるご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年８月に本市を襲った豪雨災害から一年を迎えました。この災害は、私たちに自然の脅威と災害に対する備えの重要性を痛感させられたと同時に、被災地における地域の連帯感やボランティアの皆さんの温かな気持ちを感じることができる出来事でもありました。

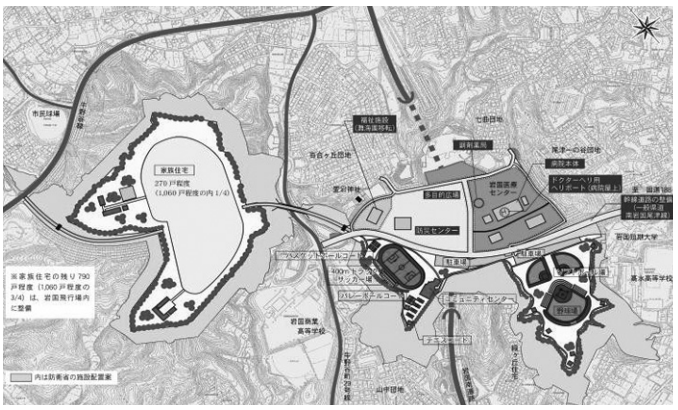
現在も各所で災害復旧工事が進んでおりますが、この災害を教訓に、避難勧告基準の見直しや新たに整備中の防災行政無線の活用など、市民の皆様の生命と財産を守る様々な取り組みを進めております。皆様方におかれましても、台風シーズンを前に、いざという時に的確な判断に基づき避難行動ができるよう、日頃からの備えをお願いいたします。

一方、皆様と共に描いてきた「岩国の新しいまちづくり」は着実に「かたち」となってまいりました。建設から65年以上が経過し、バリアフリー化もなされていなかったＪＲ岩国駅は、いよいよ本格的な工事に着手し、平成29年度末には駅東西を結ぶ自由通路と橋上駅舎が完成する予定です。

その後には東西の駅前広場も再整備され、本市の玄関口にふさわしい駅に生まれ変わります。あわせて、これまでエスカレーターしかなかった新岩国駅においても、今年度、エレベーターの設置工事が実施されるなど、公共交通機関を利用される方々の利便性と安全性の向上を図ってまいります。

また、愛宕山地区に建設中の消防防災センター（消防署）も来春から運用が開始されます。

愛宕地区では国が整備する運動施設やコミュニティセンターなども平成29年の完成を目指して整備が進められています。新たな総合計画に「基地との共存」を掲げる本市にとって日米交流の新たな拠点施設となるよう、多くの市民の皆様からも期待する声をいただいており、完成後には、市民も自由に使えるよう、現在、国や米側と調整を進めているところです。



このほかにも、子育てや教育環境の整備、中山間地域施策、農林漁業の振興など、取り組むべき課題はたくさんあります。

これからも「笑顔と活力あふれる交流のまち」の実現に向け、立ち止まることなく、まちづくりを進めていかなければなりませんが、そのためには、市民の皆様や多様な団体との「協働」による取り組みが不可欠です。

今年度、「市民協働のまちづくり」をさらに進めていくために各地域においてワークショップや私も参加するタウンミーティングを開催してまいります。どうか弥生会の皆様におかれましては「協働」のパートナーとして、これからもより一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに弥生会の益々の発展と皆様方の御健勝・御多幸を祈念いたしまして御挨拶といたします。

すばらしき今日の出逢いや風薫る

会長　二宮信子

岩国の明るい未来を創る会「弥生会」の総会が５月６日、白崎メモリアルコートにて開催されました。

この会が後退することなく、より充実した８回目の総会をむかえることができましたのも、皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。

この度は記念講演として、宮本剛・高水高等学校付属中学校校長様から御講話をいただきました。

「たのしいか・しあわせか」という演題通り、わくわくしたり、反省したり、共感したりのひとときでした。

「子供は自然の中でないと育たない」と地域と学校をつなぐ役として住民活動を実践しておられる様子に大変感動をうける御講演となりました。

当日、「ネパール地震被災地支援」の募金活動を行いました。５月21日に集まりました義援金３万２０００円を、日本赤十字山口県支部岩国市地区長の福田市長にお届けしました。

次々に起こってくる災害に少しでもお役に立てばという皆様の熱いお気持ちです。

また、４月10日には#８０００番のマグネット及び台紙１０００枚を、岩国市母子推進協議会の総会で岩国市の方に寄贈しました。

「継続は力なり」とのことばどおり、私どもの取り組みは６年目となり８５００枚という数になりました。これもみな、全員の方々がボランティア活動にご協力いただきましたおかげです。

◎菜の花に囲まれ市長若かりき

福田市政２期目もあと数か月となりました。市長は岩国市の明るい未来に向けて政策を次々と実現されております。

岩国市がこれからもっと明るいものとなりますよう、弥生会の活動も頑張っていきましょう。

◎ためらえばすすめすすめと若葉もゆ

本年度もよろしくお願いいたします。